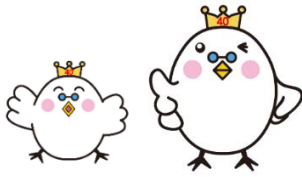




# 浦和大里小学校だより

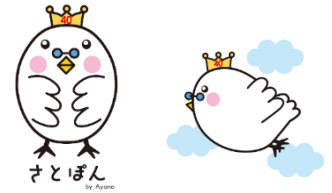
7月号 令和8年6月30日発行

**教育目標**  
夢と希望をもち、  
人間性豊かで  
心身ともに  
たくましい子の育成



## 祝 開校50年

校長 神田 朋恵



6月上旬、今年度の大きな学びの一つとして、5年生が館岩自然の教室を実施いたしました。自然豊かな環境の中での集団生活は、教室では得がたい大変貴重な経験となりました。子どもたちは、事前に立てた計画をもとに「見通しをもって行動すること」の大切さを実感し、時間や役割を意識して主体的に活動する姿が多く見られました。また、登山や川魚さばきなどの活動にも、友達と励まし合いながら前向きに挑戦し、「できた」という達成感を積み重ねることができました。さらに、共同生活の中で、自分と異なる意見や考えに触れる機会が多くありました。意見がぶつかる場面でも、相手の思いに耳を傾け、互いによりよい方法を見出そうとする姿は、大きな成長の証です。こうした経験を通して、「自分は仲間の役に立っている」という実感を深め、自己肯定感を高めることにもつながりました。5年生のこれらの学びは、本校の子どもたち全体に広げていきたい大切な姿であると感じています。

- ・木や花、魚や虫、一つひとつに命があることを改めて実感しました。
- ・何もかも自分たちだけでやって、改めて（親や先生の）ありがたみを感じました。
- ・自分の物を管理したり、友達のことを手伝ったり、自分の弱さを直したり、逆に自分のよさを活かせたので、高学年となるための成長だと感じました。…館岩に行く前と行った後では心がとても成長したと思うので、これからの学校生活で発揮させたいです。（児童の振り返りより）

6月下旬には、スクールサポートネットワーク（SSN）協議会が開かれました。学校運営協議会が学校運営について話し合ったり、方針を承認したりする組織であるのに対し、SSNは学校や子どもたちを実務的に「人」と「活動」で支えてくれる組織です。当日は、各団体から、育成会まつりやふれあいまつり、地域の清掃、登下校の見守り、挨拶の様子などについて情報提供いただくだけでなく、互いに協力・連携していくというお話もいただきました。「浦和大里小学校の子どもたちに何ができるか」を本気で考えてくださる姿から、子どもたちは強くあたたかく見守られていることを実感しました。

7月13日は開校記念日です。本校は本年度、開校50年という節目の年を迎えています。これまでの歩みを振り返るとともに、未来に向けてどのような力を育てていくのかを改めて考える機会でもあります。館岩で見られた学びは、まさに本校が大切にしてきた「生きる力」の育成そのものです。一人ひとりが自分のよさを発揮し、他者と共によりよく生きていく力は、これからの時代にますます求められます。

50年の歴史を礎として、子どもたちが安心して挑戦し、互いに認め合いながら成長できる学校づくりを、これからも進めてまいります。PTA本部に御協力いただき、実行委員会も立ち上がる予定です。保護者・地域の皆様には、引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。